

Back to Africa アプリリア レーシング トップラリーレイドに復帰

新たなアプリリアレーシングのプロジェクトとして、その名称や本格装備によるDNAが組み込まれたトゥアレグ 660を使用して、デザートアドベンチャーに復帰。

イタリアを代表するトップライダーであるヤコポ・チェルツェティが、アプリリアレーシングのファクトリーライダー兼2023年シーズンのマシン開発ライダーを務める。



2023年1月27日 ヴェローナ - アプリリアは2024年のトップラリーレイドへの復帰に向けて準備を進めています。この大望を抱いたプロジェクトは、アプリリアレーシングが監督し、2010~2012年にアプリリアがダカールに参加した際の成功体験を再現するものです。

ノアールに拠点を置くレーシング部門は、アプリリアがレースデビューを飾ったオフロードレースという原点に立ち返り、バイクの名称そのものが使命と運命を表現するアプリリアトゥアレグ 660を新たに開発しました。

アプリリアトゥアレグのプロジェクトは、1989年生まれのヤコポ・チェルツェティが監督し、独自の豊富な経験を活かし、アプリリアレーシングの発展に努めます。コモ出身のライダーであるヤコポ・チェルツェティは、イタリアのモーターラリーで幾度も優勝を飾り、またイタリアで4回、ヨーロッパで1回エンデューロのタイトルを獲得し、ダカールには既に6回出場しています。彼のサポートには、昨年トリコロレ・モーターラリーで素晴らしいルーキーパフォーマンスを達成した、トップレベルのエンデューロライダーであるフランチェスコ・モンタナーリが付きます。

マッシモ・リヴォラ: アプリリアレーシング CEO のコメント

「アプリリアレーシングは、“Back to Africa(アフリカへの回帰)”プロジェクトにより、オフロードレースの世界、つまりこの部門を築き上げたレースに再び参戦します。私たちはグランプリレースやロードレースの世界で成長し続けることを願って、SP 250 選手権や RS 660 トロフィーを通じて新たな才能を発掘すると共に、比類なきアプリリアトゥアレグで全く新しいプロジェクトにも着手しています。過去数年に渡り、著しい成長を遂げてきたレース部門にとって更なる発展の兆しであり、アプリリアがかつて経験したことのない成果を達成します」

ロマーノ・アルベシアーノ : アプリリアレーシング・テクニカルディレクターのコメント

「私たちは偉大な成功の歴史からバトンを受け取りました。アプリリアは、ダカールラリーでステージ優勝を果たした数少ないイタリアブランドであり、2010 年には総合ランキングで 3 位表彰台を獲得しました。これらは新たなプロジェクトの最初の一步に過ぎず、2023 年シーズンの目標は偉大な砂漠のレースに再び参戦する道を歩み始めることです。ただ一つ確かなことは、このマシンはアプリリアのレースへの挑戦を常に後押ししてきた価値観、すなわちパフォーマンスを追求するイノベーションから生み出されています」と語った。

ヤコポ・チェルツェッティのコメント

「100%イタリア製で、モータースポーツ界に偉大な歴史を持つブランドと連携できることは大きな誇りであり、またこのプロジェクトに携われることをとても嬉しく思います。エンデューロ 450 で経験を積んできた私にとって、これは新たなチャレンジとなります。大きな可能性を秘めたマシンに乗って、開発面でも重要な役割を担うことになります。ライダーにとっては特別な機会であり、スタートが待ちきれません」



新型アプリリアトゥアレグ 660 のレーシングバージョンは、すでに 2022 年のイタリア モーターラリー選手権に参戦したトゥアレグの開発に携わった G コルセ(ジャンフランコ・ガレスキとヴィットリアーノ・ガレスキ兄弟による)の技術的な助言を受けて、アプリリアレーシングが開発する予定です。2023 年はトリコロレ・モーターラリーへの参戦も継続し、当初より大きな可能性を示していたプロジェクトの発展に全面的に注力するシーズンとなります。スタートラインには、チェルツェッティとモンタナーリに託された 2 台のトゥアレグ 660 が並びます。

アプリリアレーシングのトゥアレグプロジェクトと並行して、アプリリアは 2023 年イタリア モーターラリー選手権会場に出展し、選手権をより身近なものにするために新設された GPX「エントリーレベル」カテゴリーにおいてトゥアレグ 660 に参加する全てのライダーをサポートします。

アプリリアは、イタリア FMI アプリリア・スポーツプロダクション選手権やアプリリア RS 660 トロフィーを通じて長年追い求めてきた目標、つまりモーターサイクルの世界へ多くのファンを導くという使命に忠実であり続けます。



アプリリアレーシング、オフロードレースから築き上げた伝説

アプリリアがレーシング界でのデビューを飾ったのはオフロードレースでした。1970年代にはスカラベオのようなオフロードの魂を宿したモデルを生産したブランドにとっては、自然なことでした。1974年にノアーレで製造された初代レーシングモーターサイクルは125ccクロスでした。1977年には125ccと250ccの両カテゴリーで初のタイトルを獲得。1978年には、モトクロス選手権の表彰台に上り、脚光を浴びました。

アプリリアレーシングは、1985年にロードレース世界選手権へ進出し、1992年に初の選手権タイトルを獲得しました。オフロードレースの世界では、2004年～2011年にかけて2気筒のSXV 450と550がライダー部門で3回、メーカー部門で4回のスーパーモト選手権タイトルを獲得し、7回の世界選手権タイトルを獲得しました。1989年にトゥアレグでパリ-ダカールに初参戦した後、アプリリアは2010年に革新的なRXV ラリー450 ツインで偉大な砂漠のレースに復帰し、2010年から2012年まで3年連続でダカールラリーに参戦しました。壮大なラリーで、アプリリアは2010年に3回のステージ優勝と総合3位を獲得し、2012年のダカールラリーでは、ステージ優勝を果たした唯一のイタリアブランドとなりました。

◇報道関係者お問い合わせ先:

ピアaggioグループジャパン株式会社
〒108-0073 東京都港区芝 2-12-10 タカナミビル1F

○ PR マーケティング: 河野 僚太 (こうのりょうた)

E-Mail press@piaggio.co.jp

代表電話 03-3454-8880 FAX 03-3454-8868